

- 小布施町では森林環境譲与税を活用して、県産材を活用した木材製品の導入を実施していく方針。
- 令和7年度においては、昨年に引き続き、町内の小布施中学校の傷んだ下駄箱の修繕を実施。
- 今後も、森林環境譲与税を活用して木材利用の促進・普及啓発に取り組んでいく方針。

□ 事業内容

小布施中学校木製下駄箱修繕における木材利用

- ・町立小布施中学校の傷んだ下駄箱の修繕を実施。

【事業費】1,540千円
 （譲与税…1,540千円）

【実績】県産材カラマツを使用して、保護者（PTA）用の下駄箱を修繕。
 （令和5年度…3学年用修繕実施）
 （令和6年度…1・2学年用修繕実施）

- ・中学校下駄箱
 保護者（PTA）用修繕完了（令和7年度分）



中学校下駄箱修繕事業完了
 （全体写真）



□ 工夫・留意した点

町立小布施中学校の木製下駄箱の傷みが激しかったため、県産材を使用して、保護者用の下駄箱の修繕を実施した。単年度で全ての下駄箱の修繕は、譲与税の金額的に厳しいため、3カ年計画を立て学年毎に修繕を実施してきている。今年度にて、環境譲与税を活用した中学校の下駄箱修繕事業は完了となる。次年度以降については、事業実施に向けて活用方法及び活用箇所の検討を実施する。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：1,814千円	②私有林人工林面積（※1）：59ha	
③林野率（※1）：13.4%	④人口（※2）：10,660人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より